

まつど しりつ だいいち ちゅうがっこう
松戸市立第一中学校

みらい分校だよ

さ べつ

差別をしない



～「多文化共生」をめざして～



1学期最初の道徳の授業では、今から50年ほど前にアメリカ、アイオワ州の小学校で行われた人種差別の実験授業の映像（「青い目・茶色い目」）をみんなで見て、「差別」について考えました。

さまざまな国籍や個性等が異なる生徒が学ぶみらい分校です。互いの違いを認め合い対等な関係を築きながら共に生きていく姿勢を大切にしていきたいものです。「多文化共生」が、みらい分校の基本です。

生徒の感想の一部を紹介します。

- ★「とても興味深い授業だった。純粋な子供たちに行うことにより大人たちよりも速くそして簡単に差別意識と格差を生み出しており、また小さい頃の経験になるためその後の人生においてもトラウマのような形として植え付けることができるかもしれない。」（A男）
- ★「実際に体験してきた身からすると、そのつらさを体験させてわからせるのは良いやり方だなあと思いました。」（B女）
- ★「この先生のやり方はとてもいいと思います。この子供たちは今後黒人に対して差別をしないでしょ。私たちはお互いを尊重するべきです。」（C女）

かつどう

ボランティア活動

～自分の力を何かの役に！～

みらい分校では、開校以来毎年ボランティア活動を行っています。今回は「花壇の整備（花の苗植え）」「学校周辺のゴミ拾い」「掲示物づくり（世界の言葉）」に自主的に分かれて作業しました。作業後のすがすがしい表情が印象的でした。 みなさん、ありがとうございました。

